

ふみびと

第7号
発行所
文通村事務局
編集 広報部
千葉県成田市

昔ながらの宿場町と「大切なもの」



最近、高速道路も千円で走ることができるようになり、人の行き来、モノの流通が便利で早くできる世の中になりました。目的地を目指して高速道路に乗りさえすれば、遠い場所にもある程度すぐに行くことができます。今ではそれが当たり前のことですが、かつての道はそうではありません。

今とは比べものにならないほどの時間と労力がかかりました。仮に、時間と労力がかかることを「不便」と言うならば、昔の時代の人々は不便な世の中に生きていたということになりませぬ。しかし、「不便」の中には、便利さを忘れてしまった何か大切なものがあるよくな気がしてなりません。

先日、とある道を訪れ歩いてきました。山々に囲まれた険しい道です。しかし、その道と道との間には、昔ながらの古い温かな町並みがありました。その場所は「奈良井宿（ならいじゆく）」という中山道六十九次の一つの宿場町。

江戸時代、京都と江戸をつなぐ道は、海沿いをゆく東海道と、内陸の山中をゆく中山道の二つがありました。「奈良井宿」は山中にあり、中山道で山を越えてきた旅人たちの疲れを癒す場であつたようです。

昔ながらの町並みは、まるで自分が江戸時代にタイムスリップして街道を歩いているかのようです。街道の隅に立つと、歴史上有名な人物たちや教科書には載っていないたくさんの旅人が歩き通り過

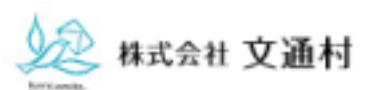


ぎていった姿が思い描かれ、そこでの様々な人々のふれあいが容易に想像できます。もしかすると旅人の中には見知らぬ土地での一期一会を旅路の楽しみのひとつにしていた者もいたかもしれませぬ。そこは、険しい道中に見つけた体と心のためのオアシスだったことでしょう。



かつての道には、「不便」ながらも、いや、「不便」だからこそお互いに助け合い、ねぎらい、声を掛け合う空間が出来ていたのかもしれない。不便な世の中から便利な世の中へ、ムダをなくして効率よく、そんな合理的な考えが世の中を展覧させています。しかし、ムダとは何かをよく見極めなければ、何のための便利な世の中かを忘れてしまいがちです。

先日、村民の方々よりお手紙をいただきました。それらには「信頼できる文通サイトが見つかり嬉しく思います」「村民生活を楽しみにしています」とありませぬ。本当に嬉しかったです。文通村は、全国の方々と安心して手紙の温かさを共有するということの下に誕生しました。ですから、村民の皆様からいただく言葉は私たちの大きな原動力です。その初心を忘れることなく今後も私達は精進していきます。そして、この編集後記を村民の皆様への感謝の言葉と代えさせていただきます。（保）



文通村に対する、「こんな紙面があつたらいいのに」「こんな企画をしてほしい」などのご意見・ご要望をお便りにして村長宛にお気軽に送ってください。メールでも受け付けています。

<ご意見・ご要望の送り方>
返信用封筒の中に
村長宛てのお便りをご同封ください
メールの場合は、
info@fumibito.com

編集後記

文通村

掲示板

文通募集欄



「火星人」さん
桜島通り1番地

「お歳・性別」50代 女性
「趣味」音楽鑑賞、メール
「自己紹介」初めまして。ペンネーム、火星人です。(細木数子さんの六星占術で私は火星人だったので、そのまま付けました)文通村・・・こんなサイトがあるなんて、今日初めて知りました。今はパソコンや携帯でのEメールが主流ですが、その昔、文通少女だった私は、やっぱり直筆のお手紙が今でも好きです。決して文才が有るわけでは無いのですが、お便りのやり取りが嬉しいのです。子育ても終わりましたので、スローライフを目指しています。どうぞよろしくお願い致します。



「美月」さん
いよかん通り1番地

「お歳・性別」20代 女性
「趣味」文通
「自己紹介」はじめまして。27歳、結婚5年目で2歳の男の子の母親です。昔はたくさんの方の文通友達がいいましたが、今は1人だけで、どうやって文通相手を探したらいいのか分からなかったため、こちらに登録しました。たくさんの方と仲良くなれるとうれしいです。



「ユック」さん
お江戸通り3番地

「お歳・性別」40代 男性
「趣味」読書、写真、ランニング
「自己紹介」落書きのようないろんな絵を描くのが好きです。字も上手くありません。でも、何かを書いて(描いて)みたい。だれかに、じぶんにも。

「里桜」さん

うつくしま通り1番地

「お歳・性別」40代 女性

「趣味」短歌、俳句、書道、読書、映画鑑賞、フラワーアレンジメント、水泳
「自己紹介」毎日パソコンを使って仕事をしています。丁寧な手書き文字で綴られた風流な手紙が恋しくなっています。美しい四季の移り変わりや、ふと目に留まった光景、日常の出来事など、何気ない手紙のやりとりをして頂ける方、ぜひとも私と文通をお願い致します。

「マジシャン」さん
お江戸通り2番地

「お歳・性別」30代 男性
「趣味」健康研究、自己啓発用品、家庭菜園
「自己紹介」手紙で相手を感じ、手紙で気持ち伝えられたいと思っています。趣味の合う方文通してください。

「むらさき」さん
古都みやび通り1番地

「お歳・性別」40代 女性
「趣味」読書、史跡散策、中国語

「自己紹介」京都に住む、むらさきです。仕事に埋没し時間に追われる日常の中で、文通を通して同じ時代を生きる人たちの様々な思いに触れる穏やかで豊かな時間を感じたく思います。趣味は読書と史跡散策です。人生折り返し地点を過ぎましたが、人間生きている限りは可能性の塊だと信じ、亀の歩みほども前に進みたいと日々あがいています。楽しい、豊かな時間を共有できる方たちとの出会いを楽しみにしています。

「ペロ」さん
お江戸通り1番地

「お歳・性別」30代 女性
「趣味」旅行、テニス
「自己紹介」約10年間旅行会社に勤務して、子供が出来たので退職し今は専業主婦です。0歳児の子育て奮闘中のため、公園の散歩や家の中で読書などを楽しんでいます。

「カノン」さん
さるぼぼ通り1番地

「お歳・性別」20代 女性
「趣味」読書、絵を描く事
「自己紹介」はじめまして。私は携帯のメールより、手紙の方が好きで、こちらにただり着きました。私は20代ですが、同年代の方より年上の方とお話があうような気がします。(職場に年配の方が多いため)からかもしれませんが、日常のこと、趣味のこと、悩みごと等、いろんな事を手紙を通してお話できればいいなと思っています。

「kororo」さん
彩の国通り1番地
「お歳・性別」40代 男性
「趣味」読書、音楽鑑賞、美術館・博物館めぐり、山登り、英語
「自己紹介」kororoと申します。40代前半の男性で、いまだ独身です。職業は大工をしております。趣味は主に読書です。本好きが高じて、自分でも物語を書こうという試みを今始めているところで、いずれ外国に住もうという夢があり、英語の学習をしています。日本の木造建築技術は世界的に見ても、優れていると思っております。将来はこの技術を外国にも伝える貢献ができればと考えています。

「アクア」さん
 琵琶湖通り1番地
 「お歳・性別」30代 女性
 「趣味」読書、散歩、パズル、
 写真を撮る

「自己紹介」はじめまして。しばらくメールでのやり取りを主にしていたのですが、やはり手紙のあたたかさ、ポストを開ける楽しさをまた味わいたくなりました。老若男女問わず色々な方と日常のことや趣味、悩みなど様々なことを語り合えたらうれしいです。お手紙おまちしています。

「銀河の旅人」さん
 六甲通り1番地

「お歳・性別」50代 男性
 「趣味」写真、旅行
 「自己紹介」毎日仕事に追われ、休日は家でボーっとしていることが多いです。パソコンやメール、テレビ等、機械化した日常の中で、学生時代にやっていた文通が懐かしく思います。

「お遍路」さん
 ピーナッツ通り1番地
 「お歳・性別」60代 女性
 「趣味」旅行、書道、絵
 「自己紹介」区切りうちの四

国八十八ヶ所歩き遍路をしています。3年後の満願をめざしています。やり通せるか不安があります。何でもよいですから情報がありましたら、お知らせください。また、お手紙を送りあえる方を探しています。よろしくお願いします。

頼られふみびと

【育児・子育て】

「お遍路」さん
 ピーナッツ通り1番地

【オフィスソフト】
 【インターネット】

「アクア」さん
 琵琶湖通り1番地

【お住まいの相談事】

「koro」さん
 彩の国通り1番地
 シックハウス症候群対策や、アトピーでお悩みの方にも住宅の環境を変えることで、症状を改善できることもアドバイスできます。

【健康と心のこと】

「むらさき」さん
 古都みやび通り1番地

【旅行（国内）】

「へこ」さん
 お江戸通り1番地

【文通村へのお便り】

「文通村村長」
 文通村役場1番地

《おすそ分けコーナー》

「おすそ分けコーナー」とは日々感じる、楽しさ・悲しさ・喜び・悩みなど様々な思いをみんなと分かち合うコーナーです。このコーナーはいつもあるとは限りませんが、みなさんからの投稿があれば、すぐに会報に掲載させていただきます。

おとといあった、嬉しい出来事をおすそ分け。今もまだ胸に抱える、悩んでいることをおすそ分け。些細なことでもおすそ分け。そんな「おすそ分け」が心と心とを結びつける。ふみびと同士が絆でつながる。それが文通村。



掲示板の活用方法

まずはじめに、気になった方のペンネームと文通村住所を封筒の宛名に書きます。封筒の裏には差出人のペンネームと文通村住所も書いておきます。

お相手の自己紹介などを通じて趣味や相談、日常のことなど何でも良いのでお手紙を書きましょう。

そのお手紙をさきほど書いた封筒に入れます。

もしも、気になった人が他にも数人いたら同じように手紙を書き封筒に入れます。

ここで重要なのが、これらの封筒には切手を貼る必要がないということです。文通村が用意した返信用封筒にのみ切手を貼ります。

つまり、文通相手がたくさんいたとしても切手代をたくさんかけずに何人もの人と手紙のやり取りをすることができます。

まずは、自分から何人かに手紙を出してみましよう。手紙の輪は最初の一通から始まります。みんな手紙を待っているのですから。

